

新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の猛威は、依然予断を許さない状況が続いております。医療・福祉をはじめ、地域の安全安心を守るために日々従事されている多くの皆さまに、敬意を表す

とともにそのご尽力に心より感謝申し上げます。

本市においては、新型コロナ対策として国・県の動きと連携し、市民生活と地域経済の安定化に全力を挙げて取り組み、時宜にかなった様々な緊急対策を講じてまいりました。また、物価高騰への対応も進めており、今後も引き続き迅速かつ的確な対策を図ってまいります。

さて昨年は、市制施行70年という節目の年でした。周年のテーマを「ともに、かなえる」とし、国連で採択されたSDGsの「誰一人取り残さない」の理念に沿い、様々なイベントを実施し、記念すべき年を多くの皆さまとともにお祝いすることができました。

また近年、本市の長年にわたる都市基盤整備の成果が評価されるようになり、新たな商業施設やアリーナ

の建設等、民間企業による大型投資が活発化してきています。こうした民間企業の大型投資が相次ぐことを光栄に存じ、その経済効果に期待しておりますが、一方で大型施設等の建設により地域環境が様変わりをし、様々な余波が周辺に及ぶことも懸念されます。開発に伴う様々なリスクについて、関係企業と情報交換を図り早い段階で問題解決に努め、多くの皆さまに喜んでいただける開発とせねばならないと考えております。

そして今年、本市8カ年の長期計画「第8次総合計画」の最終年となります。目指す都市像「幸せつながる健幸都市 安城」の実現を図るため、様々な施策を展開するとともに、コロナ禍からの脱却に向けた投資や子ども達の教育環境の充実、災害対策の強化といった視点を持って、本市の明るい未来への種まきとなる事業も推進してまいります。本年が19万市民にとってよき1年となりますことを、心よりご祈念申し上げます。

安城市長 神谷 学



明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。新春を寿ぎ、市議会を代表しまして謹んで新年のご挨拶を申し上げ

ます。

新型コロナウイルス感染症が始まって3年目となり、我が国では収束が見えるかと思いきや、未だ安心できる状況ではありません。しかしながら、そのメカニズムや対処方法がかなり確立されてまいりました。

一方、世界に目を向けてみますと、昨年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻の状況も徐々に変化し、未だ先が見通せない緊迫した状況が続いております。また、燃料価格の高騰をはじめとした物価高騰や、米中対立による国際情勢の不安定化等心配する要素が多いものの、私達は、いつも希望を持ってことに臨んでいきたいと思っております。

昨年は市制施行70周年の記念すべき年として、本市

議会におきましては「あんじょう未来ミーティング～With 中学生～」を開催いたしました。市内8中学校から選出された中学生議員を議場に招き、市政について様々な質問や提言をいただきました。演壇に堂々と立つ中学生議員の姿はとても素晴らしく、周年記念事業にふさわしいものになったと思っております。

また、海外の姉妹都市提携の節目の時期であり、昨年はアメリカ合衆国ハンチントンビーチ市との40周年、デンマーク王国コリング市との25周年を迎え、今年はオーストラリア連邦ホブソンズベイ市との35周年を迎えます。コロナ禍のため交流の停滞はありましたが、本市の国際都市としての発展を期待するとともに、目指す健幸都市の実現に寄与すべく、本市議会としましても尽力いたす所存です。

結びにあたり、市民の皆さまにとって新しい年に幸多かれとご祈念申し上げまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

安城市議会議員 近藤 之雄